

第8章 フォローアップ

新水道ビジョンの計画を見直す際には、「計画の立案(Plan)」→「計画の実施(Do)」→「計画の点検・評価(Check)」→「計画の見直し(Action)」の連鎖である「PDCAサイクル」により実施することが必要です。このサイクルを経ることにより、当初計画の目標や実現方策推進に伴う問題点、実現方策の有効性などを確認しながら、必要に応じて見直し、修正を行う予定です。



図8.1 実現方策推進のPDCAサイクル

D 計画の実施：計画の実施と進捗状況の管理

本ビジョンに掲げた実現方策については、個別の実実施計画の策定や、予算化するなどして取り組みます。

各年度の進捗状況は、業務指標による目標値が設定されている場合には、各年度で業務指標の値を管理します。業務指標による目標値で管理できないものについては、ビジョンで定めた実現方策の検討・実施状況を各年度で管理します。

C 計画の点検・評価：達成度の評価の実施

ビジョンで定めた目標値又は実現方策の内容を達成できているかの評価を実施することにより、実現方策の成果や効果を把握します。本ビジョンの計画と実施状況に大きな離れが生じることが懸念される場合は、実現方策進捗の障害となる問題が発生していると考えられるため、その原因等の把握に努め、次の未達成目標への対応につなげます。

A 計画の見直し：未達成目標への対応

行財政改革、さらなる経営効率化の要求など、実現方策の進捗に影響を及ぼすような外的・内的な要因が生じること考えられ、実現方策の進捗段階に応じて、未達成の項目に対しては、業務指標の見直しや改善策の検討を行います。

P 計画の立案：計画の策定

本ビジョンの基礎となる水量等については、現時点で想定される要因(人口動態や水需要の動向や実績等)に基づくものであり、今後の社会情勢の動向によっては大きく変化する可能性があります。これら要因の変化を適切に捉え、ビジョンの見直し・策定に反映します。